

映画場面検索サイト Seleaf の リスニングドリル機能が聴解力向上に及ぼす効果

湯舟 英一 (東洋大学)
田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)

キーワード: 映画場面検索サイト, Breath Group, リスニング, シャドーイング, 字幕

映画場面検索サイト・セリーフのリスニングドリルを使用して, 2013 年度後期授業半年間の授業内トレーニングを行った。本実践報告では, Seleaf のドリル機能の紹介, それを利用したリスニング活動の内容, 授業参加者の事前・事後テストを通しての学習効果測定の結果, 事前・事後に行ったリスニングの方略使用や英語に対する意識に関する同一アンケートの推移やクラスタ分析の結果, リスニングドリルのログ履歴と上記データとの関連を述べる。

1. 映画の映像シーンを台詞から検索できるクラウド型教材 Seleaf

Seleaf は名作映画の映像シーンを台詞から検索できるクラウド型教材である。台詞は呼吸単位 (Breath Group: BG) 毎に音映像を再生できる仕組みで, 繰り返し音読やシャドーイング訓練に適している。このクラウドアプリには, ドリル機能が付いており, ID と PW による個人認証で学習履歴を残すことができる。

2. Seleaf のリスニングドリルによるトレーニング

この教材を使い, 埼玉県内の大学 2 年生 (TOEIC 400 点程度) 24 名に対し, 英作文の授業で全 10 回のリスニングトレーニングを行った。無欠席者は 18 名で, 彼らの 1 回あたりの平均学習時間は 13 分, 解いた問題の平均数は 26 問であった。学生はドリルに取り組む過程で, 文整序聞き取り問題 (図 1) や各語の先頭の文字のみ入力していく書き取り問題を通して, BG 単位の反復英語音声で文字化する作業を行った。



図 1. Seleaf ドリルによる文整序リスニング問題実施中の様子とモニター画面 (右)

note: 画面の左に 10 秒ほど前段の音映像が流れた後, 2-3 秒の出題台詞シーンの音映像が続く。それと同時に画面の右に選択用単語カードが無秩序に並ぶので, 聞き取った順にクリックしていく。その間出題音映像シーンは回答し終わるまで最大 5-6 回反復 (最大約 20 秒) し, 時間切れとなる。

3. トレーニングの結果

参加者の 1 回あたりの平均正答率は 75%であった。英検準 2 級のリスニング問題 20 問を利用した事前・事後テスト 20 点満点において、平均点が 14.5 点から 16.3 点に上昇した ($t(17)=2.11$, $p<0.01$, $d=0.96$) (図 2)。さらに事前・事後に同一の 5 件法アンケートを行ったところ、会話を BG ごとに聞き取るドリルには、「意味の切れ目 (チャンク) を意識しながら聞く」意識を向上させる効果 (+0.6 ポイント, ウィルコクソン符号付順位和検定, $Z=1.92$, $p<0.05$, $r=0.45$) を始め、リスニング学習に対する好意やリスニング時に和訳せずに直接意味理解する方略などに効果が見られた。

また、無欠席受験者 18 名全体で平均点が 1.8 上昇したが、そのうち半分の 9 人には点数に変動がなかった (図 3) ため、実質 9 人が平均 3.6 点押し上げたことになる。前後テストの得点差でクラスタ分析すると伸びの有無で二グループに分かれた (図 4)。

4. まとめ

映画を使ったリスニング訓練の一つの方法論として、十数秒の文脈映像でストーリーに馴染ませた上で、続く 2 秒程度の音声と映像を繰り返し聞き取る手法を用い、音声と文字を結びつける訓練を実施することで、発表者らがこれまでに LET 学会誌等で主張してきた「BG をチャンクとした音声訓練を文字と関連付けて行うことがリスニング力を強化する」という教育的示唆に対する 1 つの実証的データを得ることができた。連続音声から単語などを切り出す分節化作業は日本人英語学習者にとって苦手とされてきたが、映像で意味を提示しながらチャンク単位 (2-3 秒のまとまり) で音と文字を一致させる訓練の有効性を示唆する結果となった。

参考文献・資料

- 田淵龍二・湯舟英一 (2011). 「 2 ± 1 秒の制約--音声データベースに基づく Breath Group 解析」, 『外国語教育メディア学会 (LET) 第 51 回全国研究大会発表要綱』, pp.124-125.
- 田淵龍二・湯舟英一 (2013). 「新しい読解速度計測ソフト制作に向けて 一読みの速さと正確さの相互関係」, 『外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部 第 130 回 (2013 年度) 研究大会発表要項』, pp.10-11.
- 湯舟英一・田淵龍二 (2013). 「映画音声コーパスを利用した Breath Group 長の分析」, *Language Education & Technology*, 50, 23-41.

資料 Official Website of Seleaf: <http://www.mintap.com/>

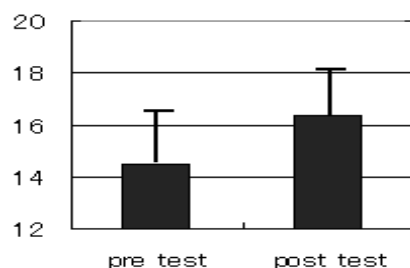


図 2. リスニング得点の平均点の変化

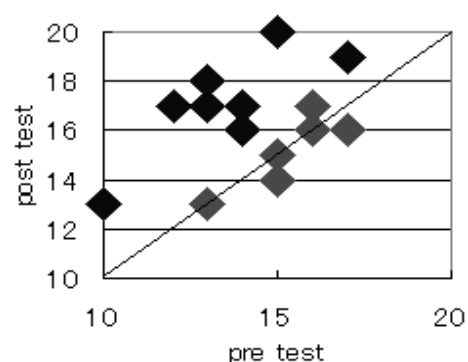


図 3. 事前・事後でのリスニング得点の分布

note: 前後テストで同じ得点の者が 4 組いるため、ポイントの数は 14 個しかない。

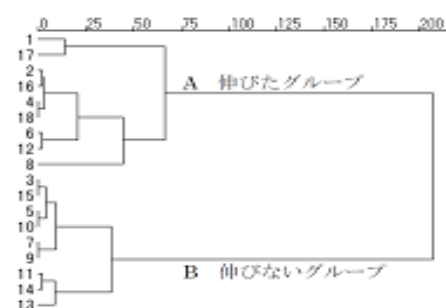


図 4. テストの伸びのクラスタ分析

note: 正規化しないデータをワード法でクラスタ分析し平方距離で樹形図とした。